

都留市景観計画

平成31年1月29日（火）

時間：午後7時～2時間程度

場所：都留市消防署 2階 会議室

景観まちづくり市民懇談会 第4回プログラム

1 開 会



2 景観まちづくり市民懇談会ワークショップ

○「景観まちづくりを考える構成要素」、「検討テーマとグループ編成」について

○これまでの経過と本日の進め方

※テーマ別に、参加者のグループを再編成します

◆グループワークショップ

テーマ：「**景観まちづくりの目標や**

重点プロジェクトを話し合おう！」

ーテーマ別目標と景観まちづくりの具体的な提案、先導的な取組みの確認ー

主な内容

- テーマ別のグループで、第3回「都留市の景観まちづくりの方向性」のまとめを踏まえ、ワークショップで活用する「提案シート」（提案整理の体系）を確認します
- これまでの意見キーワードを参考に、都留市の景観まちづくりに向けた具体的な取組みやアイデアなどを話し合い、提案を整理します（※「守る」「改善する」「活かす」「創る」「コントロールする」「ルールづくり」等の視点を踏まえます）
- 景観特性情報マップを更新します（提案マップへ更新）
- 話し合いから、景観まちづくりの目標と、重点プロジェクトにつながる先導的な取組みやエリアなどを確認します（次回も内容を深めます）
- グループごとに今回ワークショップの成果を発表し、全体で確認・調整します

3 閉会・次回の予定など

※事前に、資料「都留市の景観まちづくりの方向性」をご確認下さい！

都留市の景観まちづくりの方向性

これまでのワークショップ（意見・提案）の全体整理

第1回～3回までの全ての意見、
一言メモの内容を整理しています



※網掛文字は提案に関する内容

分類	対象となる景観	景観資源・特性	景観まちづくりの課題・提案など
景観構造	●特徴的な地形構造	・溶岩造形／富士山からの溶岩流の景観／溶岩流の露頭・幹と枝の構造／十日市場の特徴的な地形／まちを囲む低い山々／自然が身近にある風景／坂の景観／ストーンサークル	→市街地のそばにある自然景観を活かす（溪谷、城山、都留アルプスなど）／貴重な地形を観察する遊歩道の整備
自然景観	●山地・森林の景観 ●河川・水辺の景観 ●湧水の景観 ●生物生息地の景観 ●四季の彩りの風景 ●自然レクリエーションの景観	・都留アルプス ・市域の85%が山地・森林 ・清流／溪谷・湧水群の身近な水辺景観／鹿留溪谷 ・鹿留川の自然／菅野川の清流／戸沢川の景観（月待ちの湯周辺） ・水源地なので水がきれい ・おなん淵の滝／田原の滝（特に大雨時）／太郎・次郎滝 ・十日市場・夏狩の湧水群／わさび畑／菊地わさび園周辺の湧水の滝（冬のつらら） ・ムササビの生息 ・各所に四季折々の景観／桜の景観／芝桜 ・都留アルプスの登山／宝鉢山跡	・放棄された山林／荒れた山／太陽光パネル／クズ／対策／自然資源が活かされていない／城山登り口の看板 →城山の散策路と頂上整備、美化／お城山の憩いの場づくり ・河川・水辺のゴミ／鹿留川、町の中の4本の河川、家中川のゴミ対策 ・用水路のゴミ／水路の蓋がずで水が見えなくなった →水と遊ぶ場づくり／景勝地のアクセス検討／ゴミ対策は市民のモラルの向上、暮らしの中で美化の意識づけが必要 ・水質汚濁／溝や水路のゴミ対策／水源地より少し離れるとゴミが散乱 →おなん淵～菅野川のフットパス →十日市場・夏狩湧水群周辺の散策路・アクセス整備／日常の中に溶け込む潜在的な資源の掘り起こし（洗い場、水汲み場等）／案内看板整備 →田原の滝は滝の上で十日市場からくるゴミを止める対策の検討
眺望景観	●優れた眺望景観 ●良好な眺望場所	・富士山の眺望／都留アルプスからの眺望／眺望に優れた身近な山（九鬼山、高川山等） ・桂川流域を望む珍しい景観／リニア実験線周辺／田原の滝と富士急行／星がきれい（駅前から北斗七星） ・都留アルプスからの都留市のまちなみ、周辺の山々、富士山の眺望／城山からの四季折々の富士山と桜、眼下の桂川、谷村の城下町の眺望／川茂からの風景／旧道の峠／のろし台	→ビューポイントのPR（富士山と多様な景観資源） →富士山の眺望を活かす（城下町の町割りには富士の眺望を活かしたもの） →地域の隠れた視点場を活かす／下から山を望む景観を活かす
歴史文化的な景観	●城下町の景観 ●水の文化の景観 ●主な歴史文化的資源 ●祭り・行事の風景	・富士山に向かい築かれた城下町の景観／城下町と寺町通りの歴史／勝山城址／町屋／昔ながらのまちなみ ・日常の中の歴史／ピーヤ（カジャ坂）／永寿院周辺の水路網 ・寺と庭の風景／寺町周辺の社寺／桂林寺／耕雲寺～長慶寺／難陀神社／今宮神社／野づら積み石の垣／古道や歴史的な道すじ（赤坂古道等） ・歴史を感じる／八朔祭の風景、歴史文化が息づくまちの象徴 ・伝統行事（地域毎に異なるお神楽）	・城下町の廃屋・空き家対策／目立つ電柱／寂れた印象／社寺周辺の荒廃／歴史的な景観が生かされていない →家中川や社寺周辺の景観を見直す／古民家の活用／寺町の案内看板 →永寿院の湧水の散策路整備、案内看板の設置 ・桃林軒裏の荒廃 →旧町名を活かす／潜在的な歴史資源の活用（古代からの遺跡、身近な魅力スポット（ドウダンツツジ、古民家、神社・社寺等） →八朔祭りのPR（年一度のPRポイント）／祭り屋台や神楽等の伝統文化の活用／八朔祭屋台や大名行列の撮影スポット／八朔祭は参加型で継承／お祭りリレー・スタンプラリー
農と里山集落景観	●農の風景 ●里山と集落地の景観	・わさび畑と湧水／水掛け菜の風景 ・溪流に寄り添う里山の景観／谷筋に古くから形成された里山集落地の景観	・耕作放棄地／点在する遊休農地とゴミ／シカ、イノシシ等の獣害対策 →耕作放棄地の有効活用
まちなみ景観	●市街地のまちなみ景観 ●都留文科大学周辺の景観 ●水とあるまちなみ景観 ●その他まちなみ景観	・学園都市／大学のあるまち／文大前を歩く学生 ・水環境（用水路の魚）／各地域の豊富な水資源／発電と景観／家中川と元気くん（小水力発電所）が稼働する景観	・空き家・空き地対策／谷村町周辺の空き家／寂れた印象／ゴミのポイ捨て／歩行者がいない／高尾町通り／シャッター通り →まちの顔となる景観を創る／商店街を元気に →家中川、中川、寺川の修景、水路のまちなみづくり（空き地、空き家、狭い道路対策、住民意識の課題、条例化等での意識づけ） ・文大周辺のゴミ問題／学生アパートの乱立 →都留文科大学を核とした景観の創出／美化と維持・管理／学生のまちの特色を活かす →おいしい水コンテスト（こんこんと湧き出る場所）
施設の景観	●道路の景観 ●鉄道・駅の景観 ●公園の景観 ●公共施設の景観	・四日市場周辺の田んぼの中を走る富士急行線／都留市の各駅／谷村町駅前 ・スポーツで賑わう風景（玉川公園） ・集約された施設（やまびこ競技場、梁山球場、うぐいすホール、市民総合体育館）／尾県郷土資料館／和みの里・芭蕉月待ちの湯	・「美化」の看板が汚い／注意書き等の看板／壁等の落書き／多い自販機 ・道路事情の悪さ／雨の日の国道／谷村エリアの国道の幅員が狭く歩行者が危険／生活道路＝観光 ・谷村町駅前の店／文大駅のミニ公園／文大駅近くの自転車置き場／大月～吉田の通過点となる駅 →まちの玄関口・顔となる駅周辺の景観づくり／ローカル線駅のストーリーづくり（駅からフットパス）／8つの駅の個性ある景観の創出／展開する車窓風景の活用（沿線の景観資源の活用、谷村町駅への屋台設置等） ・使われていない公園／都留一中前、河川公園 →水辺の公園づくり／身近な公園・散策路の整備 →リニア見学センターのPRの充実／ミュージアム都留の祭り屋台の活用
その他	●住みやすい適度な田舎／まだ知られていない風景／人のいる風景（災害時の土震づくり、桃売りの景、ボランティア）／歌「今生きてます」の景色		
仕組みづくりなど	●景観のPR・意識啓発	・豊富なお宝資源の見せ方・出し方の工夫／良好な景観の発信・イメージを喚起するPR手法の検討（SNS発信、口コミの活用、インバウンド観光と景観PR、撮り鉄・乗り鉄等の活用、絵になるイメージ写真など）／埋もれた資源の掘り起こしと魅力の発信／ツアー・案内ガイドの検討	
景観づくりの考え方全般	●都留市らしい景観まちづくり ●景観形成の方向性について ●景観施策について	→市街地の身近にある自然景観を活かす／資源を巡るフットパスを創る（城下町・寺巡り、水源地巡り、眺望巡りなど）／谷筋・支流ごとの景観の検討／どこでも観光地・歩ける距離にある多彩な景観／元気な風景をつくる（動きがある風景） →「景観づくりのビジョン」をすすめる／「市民のための景観か来訪者に見せる景観か」でニーズ・検討が異なる／住む人が満足し外からは住んでみたいと思える景観づくり／生活者の視点・将来を見すえた大きな視点を重視／地域の暮らしの積み重ねが景観になる／継続可能なまちづくり（都留の身の丈にふさわしい取り組み）／景観づくりを通しふれあい・交流を深める →身近に思え我事と感じられる計画・条例づくりが必要／良い景観を活かす条例が必要／ソーラーパネルに対する条例は喫緊	

景観まちづくりの方向性

都留市の景観まちづくりの大切なキーワード!!

①特徴的な地形構造に沿った景観に配慮すること

②「水の都」を育んだ景観を守り・活かすこと

③都留市らしい自然骨格を守り・活かす景観づくりを進めること

④城下町の歴史・文化を継承し活かすこと

⑤地域特性を活かした都留市らしいまちなみ景観を創ること

⑥地形に寄り添う里山や集落景観を維持し活かすこと

- ▶特徴的な溶岩造形、山峡の起伏に富む地形、幹と枝の構造、自然が暮らしの身近にある景観構造など
- ▶豊かな水資源、富士の湧水・水源地、水に育まれた文化、水に関わる暮らしや営みの風景など
- ▶山岳に囲まれた山地・森林景観、都留アルプス、河川・水辺景観、富士山の絶景や特徴的な眺望など
- ▶城下町と寺町通り、堀と水路のまちなみ、八朔祭や伝統行事、水に関わる文化遺産、潜在的な歴史資源など
- ▶水のある中心市街地のまちなみ、学園都市の景観、富士急と8つの駅、リニア実験線や施設周辺の景観など
- ▶山間地の谷筋に沿った古くからの里山と集落景観、都留市らしい農の風景、市街地周辺の農村集落景観など

景観まちづくりの仕組みづくりに向けて

- 地域のビジョンを明確にし、地域ごとの景観づくりを進める（景観のイメージを創る）
- 実践する「Do！」が重要（実現可能なアクションプラン、手法・仕組みの検討）
- 短・中・長期の戦略づくり
- 人づくりと支える仕組みをつくる（ガイドの育成、ボランティアと支える仕組みづくり）
- 住民が景観の価値を認識していく仕組みをつくる
- 点と点を結びつけ面にしていく手法・仕組みを検討する
- アピールする景観を絞り込む（これだけは！を絞り込む）～先導的な取り組み
- 良好な自然景観を維持・保全する仕組みをつくる（山地・森林、登山道、河川、湧水など）
- 景観を阻害する要因を改善する仕組みをつくる（ゴミ対策、看板、ソーラーパネル、条例など）
- 豊富な景観資源の効果的なPR手法を検討する

都留市の景観まちづくりを考える構成要素

第4回 景観まちづくり市民懇談会



・重なり合う景観

- 富士山の溶岩造形、特徴的な地形構造（山地・山岳、谷筋、河岸段丘、低地等）
- 山地・森林、都留アルプス、登山道、ハイキングコース
- 河川、沢、溪谷、滝などの清流と水辺、湧水群・水源地、釣りの風景
- 眺望（富士山や山なみ、地形に沿い俯瞰・仰瞰する眺望、身近な眺望地点など）
- 動植物の生態系

自然的景観

- 城下町と寺町通りの歴史的景観
- ピーヤ・水路等の水の文化的景観
- 八朔祭や神楽等の祭・伝統文化
- 社寺・仏閣、鎮守の森
- 文化財（史跡・遺跡など）
- 古道・旧道
- その他（古民家、道祖神・石仏・塚・祠、古木など）

歴史文化的景観

- 集落地（古くからの谷筋の山間集落、市街地周辺の農村集落、屋敷林、小川、湧水と水路など）
- 溪流に寄り添う里山の景観
- 水掛菜やわさび畑の農の風景

農村・里山集落景観

景観

「景」眺めの対象
「観」見る主体の感覚

暮らしの景観

都市的景観

- 中心市街地のまちなみ景観
- 水路のあるまちなみ景観、小水力発電所
- 都留文科大学周辺の学園都市の景観
- リニア実験線・見学センター周辺の景観
- その他、商業地、幹線道路沿道等のまちなみ景観など
- 富士急行線と8つの駅周辺の景観
- 公園や観光レクリエーション施設、公共施設周辺の景観
- 土木構造物（高速道路・国道139号等の道路、鉄道、橋梁、トンネル、堰堤等）



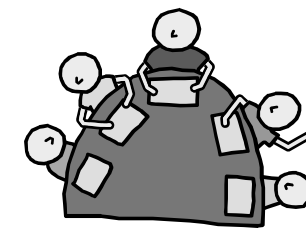
- 自然が暮らしの身近にある景観
- 四季の移ろいと花と緑の風景（桜や紅葉の風景など）
- 多様な活動や行為（人のいる風景、行事・イベントなど）
- 郷土食や日常の生活景 など

◆検討テーマとグループ編成について

■意見書づくりで大切な視点 ～これまでの意見から～

- 自然が暮らしの身近にある、特徴的な地形構造を手がかりとした景観まちづくりに留意する
- 城下町や八朔祭の歴史文化、「水の都」などの“都留市らしさ”を象徴する景観まちづくりを話し合う
- 地域固有の景観のイメージ・ビジョンを確立し、豊富な景観資源を活かす景観まちづくりを検討する
- 先導的な取り組みや実現可能な手法・仕組みを考える（景観の価値の再認識、効果的なPR手法、協働と人づくりなど）

■検討テーマ（景観まちづくりの方向性）とテーマ別グループ編成



これまでの意見・提案の整理を踏まえ、提案づくりは、次のような検討テーマとグループ編成で進めていきたいと考えています！

■（仮）都留市の骨格となる景観を守り活かすグループ

【検討テーマとキーワード】

●都留市らしい自然骨格を守り・活かす景観づくりを進める

- 山地・森林景観（山岳に囲まれた山峡の都市、市街地背後の都留アルプス、豊かな森林など）
- 河川・水辺景観（清流、溪谷、滝、湧水群など）
- 眺望景観（富士山と景観資源が重なる絶景、地形が魅せる特徴的な眺望景観、身近な眺望地点など）

●城下町の歴史・文化を継承し活かす

- 城下町と寺町通り、堀と水路のまちなみ景観
- 八朔祭や神楽等の伝統行事
- 水と関わる文化遺産、潜在的な歴史資源など

●特徴的な地形構造に沿った景観に配慮する

- 溶岩造形、山峡の起伏に富む地形、幹と枝の構造、自然が暮らしの身近にある景観構造など

●「水の都」を育んだ景観を守り、活かす

- 豊かな水資源、富士の湧水・水源地、水に育まれた文化、水と関わる暮らしや営みの風景など

■（仮）暮らしに身近な景観を活かし創るグループ

【検討テーマとキーワード】

●地域特性を活かした都留市らしいまちなみ景観を創る

- 水とある中心市街地のまちなみ景観
- 都留文科大学周辺の学園都市の景観
- 富士急行線と8つの駅、幹線道路沿道、リニア実験線や公園、観光交流施設周辺などの景観

●地形に寄り添う里山・集落景観を維持し活かす

- 山間地の谷筋に沿う古くからの里山と集落景観
- 十日市場・夏狩湧水群周辺の都留市らしい特徴的な農の風景、市街地周辺の農村集落景観

景観まちづくりの手法や仕組みづくり